

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 24 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名		道路維持事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名	上原 哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名	塚本 健洋
	基本事業	15	適正な維持管理の推進		所属班	管理計画班	(内線)	2271
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	
		1	8	2	2	10108	成果優先度評価結果 2 コスト削減優先度評価結果 3	
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】地域からの要望や道路パトロール等で確認できた道路施設の維持補修や軽微な改良が必要な箇所等の維持管理の工事を行う。また、道路パトロール車の維持及び技術向上の研修受講。								
【業務の流れ】要望・苦情等の連絡等があった場合、現地を確認し、工法等検討し職員で対応できる箇所は速やかに補修するが、その他修繕工事でも出来ない場合は、測量、設計等を行い入札・発注する。その後、工事完了の確認検査、工事費の支払いを行う。								
【主な予算費目】需用費、役務費、使用料及び賃借料、工事請負費、負担金及び交付金、公課費								

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 維持工事 7件	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 維持工事の件数 件 ⇒ イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 幹線道路・生活道路・管理施設	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 市道路線数 本 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・安全な通行を確保する。 沿線の住環境に配慮した道路になる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 苦情件数 件 ⇒ イ 対応率 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 適切に管理されて安全に通行できる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 苦情件数 件 ⇒ イ 対応率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	5,430	5,600	11,200	11,410	12,400	11,200	
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	11,245	14,085	6,607	0	2,032	8,800	8,800	
	(A) 事業費計	千円	16,675	19,685	17,807	11,410	14,432	20,000	20,000	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	200	250	200	175	200	200	200	
	(B)人件費計	千円	794	995	796	697	796	796	796	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,469	20,680	18,603	12,107	15,228	20,796	20,796	
	活動指標	ア 件 イ			7	7				
	対象指標	ア 本 イ	924	928	939	939	950	960		
	成果指標	ア 件 イ %	212	216	200	133	190	180		
	上位成果指標	ア 件 イ %	212	216	200	133	190	180		
			73.1	84.7	90	77	92	94		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
道路法第42条により道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つよう維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならないようになっているため市道(旧町道)として管理することになった時点より対応している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
車の通行も年毎に多くなっているため、舗装については、工事後相当の年数が経過している路線も多く維持補修する箇所も多くなっている。また道路側溝も蓋が架かっている路線も多く蓋の設置要望も多くなっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
早急な対応を望まれている。

事務事業名	道路維持事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	--------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 道路を利用する車や人が安全に安心して利用できる道路として良好な状態に保てる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 道路法により道路管理者が維持管理しなければならない、利用者の安全な通行を確保する。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 今のままでよい。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 現状維持
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 適切な道路管理が出来なくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 方法はない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 大型車の通行並びに通行車両の増加に伴い年々道路の傷みも増えてきており、事業費削減の中新規事業は減らしても道路維持についての事業費削減は出来ない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在道路パトロールにおいては、嘱託で3名雇用しており、現場の対応方法についての判断は場合によっては正職員での判断が必要である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 道路利用者は特定の人に限っておらず万民が通行する道路と考えており安全で安心した道路管理は公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	6	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)